

科目名称	成人看護学方法論Ⅳ（緩和ケア）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期	1	15
担当教員	井ノ上眞由美 西谷恵 太田亮子	授業に関わる実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

緩和ケアとは生命を脅かす疾患に起因した諸問題に直面している患者と家族のクオリティオブライフ（生活の質・生命の質）を改善する方策で、痛み、その他の身体的・心理的・スピリチュアルな諸問題の早期かつ確実な診断、早期治療によって苦しみを予防し、苦しみから解放することを目標とする。

緩和ケアは病気の治療と平行して行われており、患者の全人的苦痛に対して、生活の中で最高水準の健康状態に導く方法について学ぶ。その中に、終末期医療があり、患者の家族に対してグリーフケアが行われ、患者の死後、遺族へのケアも含まれる。

また、終末期医療で脳死移植が行われている。生命倫理・生命の尊重・人間の尊厳について考え、患者・家族を支援するための知識を習得する。

【2】学習目標

1. 緩和ケアを必要とする患者の全人的苦痛を理解できる。
2. 終末期患者のクオリティオブライフを高める援助について考えることができる。
3. 終末期患者の家族に対する援助が理解できる。
4. 患者を亡くした家族に対する援助が理解できる。
5. 人間の死と、価値観について考えることができる。
6. 脳死移植をする家族に対する援助について理解できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態	教員
1	緩和ケアの概要について	講義	井ノ上眞由美
2	臨死期にある患者への看護	講義	太田 亮子
3	がん患者と家族への看護	講義	井ノ上眞由美
4	終末期にある患者および緩和ケアを必要とする対象への看護	講義	
5	移行支援と意思決定支援	講義	西谷 恵
6	脳死期の看護 脳死医療	講義	井ノ上眞由美
7	エンゼルケア	演習	
8	筆記試験		

【5】評価方法

筆記試験（80％）及び演習（20％）で総合的に評価する。

【6】教科書

恒藤暁,内布敦子 編:系統看護学講座 別巻 緩和ケア,第3版 2023 年.
小松浩子 他:系統看護学講座 別巻 がん看護 第3版 2023 年

【7】参考書

ナーシング・グラフィカ成人看護学(6):緩和ケア 第3版メディカ出版,2022.
がん緩和ケアガイドブック:日本医師会, 青梅社, 2015

【8】受講生へのメッセージ

緩和ケアについての基本的な知識を理解し、その対象者（がん患者・非がん患者）にどのような視点でアセスメントを行い、緩和ケア援助を行っていくかを臨床での事例を交えながら学習を進めていきます。また、非がん患者や小児・AYA 世代の患者への緩和ケアについても学習していきます。